

エビフリモちゃんの「医療現場へ突撃インタビュー」

みどり市民病院 泌尿器科医の
河合 憲康先生に聞きました!!**ピンポン球が出てくる!?**

骨盤臓器脱のはなし

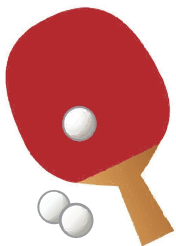
名古屋市立大学医学部附属
みどり市民病院
泌尿器科 教授/部長**河合 憲康**

[かわいいのりやす]

1991年 名古屋市立大学医学部卒、博士(医学)、専門は泌尿器内視鏡手術・女性泌尿器科

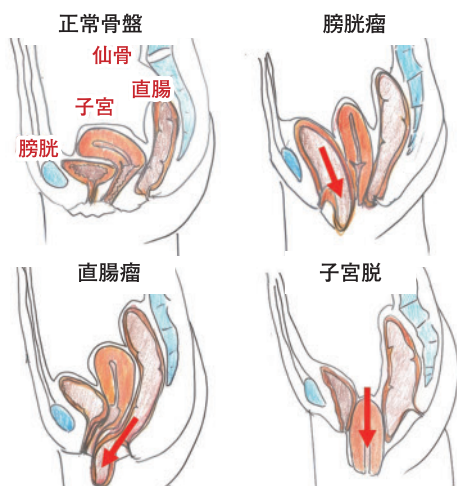
はじめに

女性のみなさん、お風呂で「何かが触れる」「ピンポン球のようなものが挟まっている感じがする」「力まないとおしっこが出にくい」などの症状はありませんか?もしかしたら、それは「骨盤臓器脱(こつぱんぞうきだつ)」という病気かもしれません。この病気について、わかりやすくご説明します。



骨盤臓器脱とは?

骨盤臓器脱は膣から骨盤内の臓器である膀胱、子宮および直腸などが出てきてしまう病気です。出てくる臓器により「膀胱瘤」「子宮脱」「直腸瘤」と呼びます。



日本では、膀胱瘤がいちばん多くみられます。ここでは膀胱瘤を中心にお話します。

主な症状

1. おしっこの症状(排尿障害)

膀胱が出てくると、おしっこの通り道(尿道)が押し曲げられたり、押しつぶされたりします。すると次のような症状が出てきます。

- おしっこが出にくい
- おしっこが残っている感じがする
- トイレが近くなる、急に行きたくなる
- ひどいときには、全く出なくなることもあります

2. 下腹部や膣の違和感

膀胱が下がってくことで「何かが下りてきている」「膣に何かがある感じ」がします。

3. 膣のふくらみを感じる

鏡で見ると、膣の入り口にふくらみが見えることがあります。ご自身で「ピンポン球のようなものが出てきている」と感じる方もいます。

診断の方法

- ①診察: 膣を直接見たり、指でふれて確認します。
- ②POP-Q検査: 膣のどこがどれだけ出ているかを、細かく測って調べます。
- ③MRI検査: 骨盤の中の臓器の位置関係を詳しく調べます。

主な治療法

1. 手術をしない方法(保存的治療)

- 1)骨盤底筋トレーニング: おしっこをがまんする筋肉を鍛える運動です。
- 2)ペッサリー: 膣の中に小さな器具を入れて、臓器が下がらないように支えます。

2. 手術をする方法(手術治療)

- 1)経膣メッシュ手術: 特殊な網(メッシュ)を膣から入れて、臓器を支えます。まれに合併症を認めることがあります。
- 2)腹腔鏡下仙骨膣固定術: お腹に小さな穴を開けて内視鏡で行う手術です。骨盤内の仙骨前の靱帯にメッシュで膣のてっぺんを吊り上げる術式。体への負担が少なく、再発もしにくいです。



日ごろからできる予防

- ①骨盤底筋トレーニングを習慣にしましょう
- ②便秘を予防しましょう
- ③長時間立ちっぱなしや、重いものを持つことを控えましょう
- ④太りすぎないように体重を管理しましょう
- ⑤慢性的な咳がある場合は、早めに治療を受けましょう

おわりに

骨盤臓器脱(膀胱瘤・子宮脱・直腸瘤)は、日常生活のつらさや不便を引き起こしますが、治療すればよくなる病気です。少しでも気になる症状があれば、早めに泌尿器科や産婦人科に相談してください。

Information

予防医学が紡ぐ 幸せな健康未来 ~みどり市民病院の挑戦~

人生100年時代、自分自身はもちろん、大切な家族の健康を守る予防医療。大切な人の【小さな異変に気付く】【ちょっと生活習慣を見直す】きっかけを見つけてみませんか。

